

★東柿生小学校とフィッチリー小学校の生活と比べて、考えたことを書いてみよう。

◇子供たちの感想

- ・日本の小学校と違ってびっくりしました。テストを受けて、だめだったら次の学年になれないなんてすごく大変だなと思いました。10時間目まであるのも驚きました。
- ・校庭が広いのはいいなと思った。だけどサッカーボールが学校に2個しかない。日本はたくさんあるので少し分けてもいいと思った。
- ・日本とジンバブエの小学校はすごくちがってびっくりしました。手でごはんを食べるのはインドネシアと同じでした。7年生まであってしかも進級テストがあるのはすごくたいへんだなと思いました。
- ・教科書は1クラスに10さつぐらいだとしたら、それだけ友達と見合っただけでやるから、友達関係がよくないとできないと思った。
- ・私たちは一人一さつ毎年上と下新しい教科書もらえるけど、何年も同じものをクラスで使うなんてすごいと思いました。
- ・とても物を大切にすることを学びました。ぼくも物を大切にしようと思います。特に、紙は白だったらもう一回使おうと思います。
- ・日本の人と比べると、ジンバブエの子供たちはお金を持っていないなと思いました。日本の子供たちは筆ばこをかえたいとすぐ言う人がいるけど、ぜいたくなことは考えられないのだろうと思いました。
- ・みんないろいろな物をいっしょに使っていて、日本とは全然ちがうと思いました。でもその子供たちはとても元気だからよかったと思います。あまり物やお金がなくても、みんなが元気なら、それでいいと思います。
- ・日本とくらべるとみんなで協力することが多いからきっとみんな仲がいいのかなと思う。
- ・けんぱんハーモニカやノートを送りたいです。ぼくがアフリカへ行ったら、14年ぐらい小学校にいかなければならぬのかなと思いました。
- ・7時30分に1時間目が始まるなんて、私は絶対に無理だから、すごいと思います。

東柿生小学校5年3組の皆さんへ

こんにちは。お手紙ありがとうございました。皆さんのお手紙を1つずつしっかり読ませてもらいました。私は、アフリカ、ジンバブエの小学校で先生として働いている橋本といいます。ジンバブエの子ども達に音楽や水泳を教えています。どうして日本人の私が、アフリカのジンバブエで音楽や体育を教えているかという、ここで働いている先生は子供のときに学校に音楽や水泳の授業がなかったため教えることができません。そこで青年海外協力隊となりボランティアとしてここに来て子ども達に教えたり、先生に教え方を教えたりしています。期間は約2年間。ジンバブエに限らず世界各国でたくさんの日本人ボランティアが世界の人たちと一緒にいろいろな仕事をやっています。興味がある人は調べてみてくださいね。

ジンバブエには去年の9月に来て、まもなく1年と半年が過ぎようとしています。日本にいるときにはジンバブエのことを全く知りませんでした。私も来る前、小杉田さんの思っていたようにアフリカは暑いとしか思っていなかった。でもここに来てみると違いました。一年中暑い国もありますがここは6~7月が冬で一番寒く、夜はストーブをたかないといけません。朝も白い息が出るほどです。だから子ども達はこの時期、長そでをきています。(でも昼間は暑くなります。)信澤くんの質問にあったのですが、雪は降りません。3月~10月にかけては乾季と言われ雨も全く降りません。日本とは気候が全く違うなあと思いました。日本とは違いとても心地いいですよ。

ジンバブエ人々の生活にも日本とは違いおどろくことがたくさんありました。日本ではお米が主食ですがここではサザと言ってトウモロコシの粉にお湯を入れぐつぐつ煮て、お団子みたいに固くなるまで混ぜたものです。外川君の質問にもありましたが、食べる時には、はしやスプーンは使わず手でごねごねして食べます。もちろん食べる前には手をきれいに洗います。味のほうはなかなかおいしいです。一緒に野菜やお肉を食べます。でも日本のようにいろいろな種類の料理はありません。いろいろなものを考えて作る日本人はすごいなあと感じました。皆さんはどんな料理ができますか。あとジンバブエの人たちは日本人がはしを使って食べていることに驚いていました。日本人からすると当たり前なことでも世界の人から見れば不思議だなあと思うこともたくさんあるのですね。

さてジンバブエの小学校についてです。山本さんや守谷さんの質問にありましたが、1月から新学期が始まります。日本と同じ3学期まであり、学期と学期の間の休みはなんと1ヵ月もあります。日本の夏休みのような長い休みが3回もあるんです。また日本と違うことは皆さんも知っているように進級テストがあるということです。(勉強の内容は日本と比べて難しいということはありません)。「日本は勉強がわからなくても、一生懸命勉強しなくても次の学年にいけるんだよ。」と言うと、とても不思議に思っていました。

ジンバブエの子ども達はとてもかわいいです。津村君や中島君の質問にもありましたが子ども達の性格は日本の子ども達と比べると、周りのことを気にして恥ずかしがる子供はとても少ないなあと思いました。自分がこうじゃないかと思うと、間違いを気にせず発表します。間違えてもまた手を上げます。何度も何度も手を上げます。わからなくても手を上げる子もいるほどです。ダンスも大好きです。音楽を流したり、歌を歌ったりする時は自然と体を動かします。日本の子供は恥ずかしがってできないだろうなあと思ったりもします。クラスもみんな、仲がいいです。とても仲のいい人またはそうでない人もクラスみんなで何かをする時は、みんな分けへだてなく協力して楽しくやっています。皆さんと同じようにけんかもありますが、仲直りも早いです。

日本に比べると物も少なく不便なことも多いです。例えば教科書は毎年学校にあるものを使っています。ボールも学校に1個しかなくとても大事なもののなので休み時間でも子ども達はきれいなボ

ールを使っでは遊べません。でもこれが当たり前なのでがっかり様子もなく、自分達で工夫してやっています。あるものはいつまでも使えるように大事に使い、ないものは自分達で作ったり、なくてもいいように別の方法を考えたりしています。

日本では、教室には鉛筆や消しゴムなどたくさんの落し物があり、休み時間が終わった運動場にはボールが置きっぱなしになっているなどそんな光景を目にしました。ジンバブエに来て思ったことは、たしかに日本は物がたくさんあって不自由なく過ごせ、物が無かったらお金を出して買えば解決できますが、そのかわり物がありすぎて大切に作る心を失っているのではと感じます。

ここジンバブエで生活しジンバブエの素敵なのところもたくさん見つけることができました。一生ここに住まないなあとも思ったりもします。人々は明るく陽気で、優しく温かく…。子ども達は、小さいことにくよくよせず、学校に来れることに幸せを感じ、全ての友達、先生、家族を大事にしているのがよくわかります。こんな人たちに出会えて本当によかったと思っています。

それでは皆さんもうすぐで2学期も終わりですね。楽しい2学期でしたか？楽しく充実した学校生活にするのも皆さんのそれぞれ次第だと思います。ジンバブエの子ども達に負けないように失敗を恐れずいろんなことにチャレンジしてください。また何か聞きたいことがあったらいつでも聞いてください。

ジンバブエ フィッチリー小学校
橋本